



# しらか

平成10年

1月号



## 市浦村役場

平成十年元旦

謹んで新春の  
御祝詞を申し上げます

組 合 市 浦 消 防 署 長	津 軽 北 部 広 域 事 務 長	歯 科 医 師	内 科 医 師	市 浦 診 療 所	十 三 保 育 所 長	脇 元 保 育 所 長	相 内 保 育 所 長	議 会 事 務 局 長	安 東 の 里 振 興 室 長	教 育 次 長	出 納 室 長	建 設 課 長	経 済 観 光 課 長	住 民 福 祉 課 長	企 画 財 政 課 長	総 務 課 長	教 育 長	収 入 役 長	助 役 長	村 長
三 上 光 治	林 村 宗 輝	岩 村 有 泰	大 沢 ふ み 子	桑 野 尚 子	長 利 友 子	竹 谷 博 則	白 川 隆 治	鳴 海 文 保	古 川 松 徹	中 居 松 男	成 田 義 正	三 和 省 勝	桑 野 邦 夫	松 江 幸 勝	木 村 義 光	山 田 勝 明	工 藤 誠 一 郎	高 松 隆 三		



# 新しい時代へ

## 意識の転換を

市浦村長 高松隆三

新年明ケマシテ

オメデトウゴザイマス  
冬ハ必ず春トナリ

朝ノホシ夜トナリ

ト言ワレテイルヨウニ

今年モマタ一分一秒ノ

狂イモナク新シイ年ガ

ヤツテマイリマシタ

昨年ハ暗イコトガ多イ

年デアッタノデ今年ハ

ソノ分モ含メテ良イ年

デアリマスヨウニオ祈

リシタイト思イマス。

時の流れはいま、明治維新以来の大改革といわれている行政改革や財政改革、それに地方分権や介護保険制度の創設など、新しい時代にむけて新しい価値観への転換をもとめながら変わり続けて居る時に、こうした激動、激変の時にこそ村の未来を拓く鍵が潜んでいるものと思

い、一層気を引き締め直し、初

心を忘れることなく村政の運営にあたりたいと思つて居ります。昨年生まれた子どもの数が十三名、その前の年も十五名より生まれませんでした。あと二年後の平成十二年と十四年の年には太田小学校に入学する子どもがゼロとなり、脇元小学校でも平成十五年の年には新入生がありません。入学生がなければその年は入学式も六年後には卒業式も行うことが出来ません。そして四人に一人は高齢者だという典型的な少子高齢化が進んでいるわが村のこの冷然な現実

は、これまでのハコモノづくりにから福祉重視へとその政策の転換をもとめているものと厳しく受けとめ、昨年の健康文化都市の指定に引続き本年は健康保養地の指定にも全力をあげ、津軽半島最大の「健康とやすらぎの里・福祉リゾート」の建設に努力する考えであります。

特に二年後にスタートする介護保険制度に備え保健と医療を一体化した住民参加型の在宅介護基盤づくりを急ぐほか、家庭のぬくもりが感じられる統合保育所の建設や、人生の終えんを飾るにふさわしい斎場の建設にも着手するとともに、今年には文化観光立県の年でもあるので県と連携しながら十三湊遺跡の集中発掘やシンボジウムの開催、それに蟹田・十三湖間の定期バスの運行にも努力したいと考えて居ります。

昨年は懸案の相内橋の架け替え工事も完成し、実取地区の市場整備事業も本格着工しました。が、続いて桂川・太田地区の市場整備の実施にむけて準備調査に入ることし、相内・太田鏡線の坂道改良工事や、鯉ヶ沢・十三線の道路改良事業も今年度で完成させるほか、今泉から道の駅までの十三湖々岸道路や大

沼水環境整備事業も新規着工の予定となって居り、さらに相内地区の下水道整備事業やゴミ処理施設の建設についても検討委員会を設け本格的に取り組むこととして居ります。

このほか栄養価が高く食物繊維や鉄分・カルシウム・サポニンなどが多量に含まれて居り、二十一世紀の世界の主食になるのではと期待されている「キヌア」の加工産業や魚の陸上養殖並びに海水温泉の開発や研究を積極的に進め、働く場を創出して若者の定着を図りたいと考えて居る次第であります。

しかし、こうした政策や事業の実施にあたっては村民の理解が大前提であります。国も地方もいま未曾有の財政危機に直面しそれに地方分権や広域連合や介護保険も実施という、いわば地域革命にも似た大改革の時には、村民の意識もまたそれなりに大きく変わつて欲しいと思

います。非常に苦しい年明けとなりましたが、厚い雲の上にご太陽があるわけでありその太陽を求めて共に知恵と汗を出し、二十一世紀に揺るぎない市浦をつくるため頑張りたいと思





市浦村議会議長 浜田 春士

## 厳しい時こそ 頑張らなければ

市民の皆さん新年あけましておめでとーごさいませ。  
新春を迎えるにあたり謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

皆さんもすでに周知のように市町村は、かつての国の下請け、末端、という位置づけから、最近では、少なくとも自分のところのまちづくりに関しては、自らが主役、国にさきがけて、先端、へと大きく変わりつつあります。

国と地方との関係は、戦後長い間大事なことでは国が決める、そして市町村はその手足、執行機関という感覚でとらえられ、国から県へ、県から市町村へという順序で指示、指導が下りてきた。しかしながら国が先頭、先導であり、市町村は黙って言われた通りについていけばよい、という時代ではなくなつてまいりました。

それぞれの市町村は、少なくとも自分のところのまちづくりに関しては、国、県が考えてくれるのではなく、自らのまちづくりは、自ら考えて進めるように変わってきている。

地方分権や規制緩和について、市町村に権限の大幅な委譲等が行われることとなり、これを機会に住民の多様なニーズに即応した活力のある地域社会を形成することができるようになったことは喜ぶべきことではあります。しかし一方では新たに責任や財政負担なども伴うわけであり、また広域連合や町村再合併問題も住民の発議等でできるよになつてまいりました。

こうした激動と変革の時代を迎えたとき、日本経済の回復が鈍く、景気は一進一退を繰り返しており、来年度の見通しも決して明るくなく、公共投資は、来年度7%の削減が決まつており、

国も財政構造改革に取り組みだしていることをごさいませ。

さらには、一連の証券会社や銀行の不祥事は新聞の社会面を暗くし、政治も汚職がらみの話が絶えず、お先真っ暗なようだが、こういうときこそ当村議会として果たさなければならぬ

数多くの責務を自覚し、市民各位の負託にこたえるようにならねばなりません。昨年をふりかえつてみると、十三湖のじみみの生産は、前年の実績五億円を上廻る状況にあり、稲作やトマト栽培においても後半の好天が幸いして当初心配された低温の被害もなく、前年度より伸びる状態に推移したことは、喜びにたえないところでございませ。

また観光立村を目指して十二年、各種の観光施設や生産活動施設が着々と進められ、さらに昨年のゴールデンウィークには、



▲唐川城跡から見た風景

十三湖高原駅がまた新たに加わり農山村を知らない都市住民との交流がはかられ、特産のじみみエキス、シジミみそ等が販売され市浦村の特産物の開発に拍車がかかったことには喜ばしいところであり、また十三湊遺跡の発掘調査もこれまで以上に進められ、その繁栄の歴史の解明がさらに進んだことは、村民の誇りとイメージアップが図られたつあります。

新食糧法に対応する土地改良事業の、実取露草地区の水田九十五町歩の相場整備事業をはじめ、さらに相内橋の架け替え並びに生活環境基金整備事業としたり

では十三地区の下水道整備事業が平成十一年供用開始を目標に着々と進められております。

健康文化都市づくり、海水温泉の開発や、福祉の拠点づくりさらには高付加価値型の漁業振興、高齢者福祉、保育、教育施設の整備充実、ゴミ問題、共同産場の建設など課題は山積しておりますが、豊かさの実現と住みよさの充実に向けて、議会として最善の努力を傾注してまいりますと存じております。

最後になりますが村民のみなさんのご健康とご多幸をお祈り申し上げ新年のごあいさつといたします。



# われら寅年



## ～ 今年の抱負 ～

### こんな一年に

今年、ぼくにとって小学校最後の年です。とても楽しみたいと思っています。がんばりたいことがあります。

楽しみにしていることは、修学旅行です。六年生の人から聞いた、ルスツ高原のハリケーン、ループザルプなどの絶叫マシンの話を聞いてはくも早く乗りたいなと思います。だからとても楽しみです。

次に、がんばりたいことは、下級生の手本になむことです。委員会、クラブ、嵐割り班などで先頭にたななければいけません。だから、リーダーとしてはすかし

### 感謝される

#### 六年生になるぞ

この四月から私も六年生、今、私は、早く六年生になりたいと思っています。小、小学校の最高学年で、下級生のリーダーとなり引っぱっていかねばならない、よく機関車に例えられる学年です。責任がプレッシャーも大変なものですよ。

学校に入學して間もないころ、そのじは方や学校生活の楽しさを教えてくれました。初めて高学年の仲間入りのした四年生の時、カヌーやO-1ボートで

くない行動をとりたいです。

次に、がんばりたいことは、卓球とソフトバレーです。卓球では市浦村の大会で三位以内には入ります。でも、その他の大会では、三位以内に入らなかった。今年も、練習をたくさんしてよい成績を残したいです。ソフトバレーは、今まで六年生の人から手だったので、賞を取れたけど去年はぼくたちが賞に入るように、みんなを引っ張っていきたいです。



岡 実  
(太 田)

教えてくれたり、委員会活動がきちんできてくるようにしてくれました。

そんなすばらしい先には感謝の心こめ、私も六年生になつたら下の学年から連絡され感謝される六年生になります。心に決めていたのです。



秋田谷 志乃  
(十 三)

ついで、苦しいこともあてし

ようが、私はやりぬくつもりです。今年、五五年生の(翌期)まではいろいろなことがありますが、「委員長としての自覚が足りない」と、先生におこられた時もありました。先立な六年生になれるが不安です。その中でも特に不安なのは、六

### 一日一日を全力で

「市浦? たしか小治方面だと思います。」先日私の友人が市浦に来る途中、五所川原のソリス・タウンと道を通ったところ、このよふな事を言われた。あまり知られていないのは遺憾でしたが、それにしては同じ村にひとと隣居した。確かに同じ村でもCMが流れる村、ジャスコが建つ村、地吹雪を名物といえる、十三湖やシニョウというあるが、それを上

### 六年生としての自覚を

今年にはぼくらの年、とら年です。そして、ぼくは四月から六年生になります。去年はいろいろなことがありました。

特に印象に残っているのは、市浦の五年生全員でおこなったリーダー研修会や上ノ国での交流です。初めて体験したことが、たくさんありました。

思えば、五年生の(翌期)まではいろいろなことがありますが、「委員長としての自覚が足りない」と、先生におこられた時もありました。先立な六年生になれるが不安です。その中でも特に不安なのは、六

回客物が必要だと思っ、誰もが知

つてる村、読れる市浦村であって欲しいと思っ気持ち同じだと思っ、まず私自身、何事も思いっきり積極的に活動していきたい一日一日を全力で過ごしたい、いつかやってくる自分達の時代の今何をすべきか明確、自分の生き方や能力を問い直してみたい。



工 藤 秀 之  
(相 内)

今年には六年生での修学旅行があります。六年生としてこの行動についてもすかしにくい行動や、責任ある態度でのぞみたいと思っます。自分なりに、何にでも一生懸命にがんばれる一年にしたいです。



小 川 紘 司  
(相 内)

# 今年一年の抱負

私の今年の抱負は、二つあります。

一つは、二月にある新人戦では六年がないので、私が先頭に立たないといけません。みんなに指示を出したり、先王がいけない時に練習を進めたりしないといけません。

でも、私も得意じゃない所があります。それは、シュートです。だから今年は、シュートを一本でもいじから、決めたいです。

あと、もう一つは、勉強です。六年生になっても、むずかしくそんな事はつかりです。特に、六年生に

## 「和」を大切にしたい

光陰矢の如し、月日のうつり変わりが自覚される感じにされるこの頃ですが、新年を迎えて、今年は一寅年、という、特別の年のせいか、キリッとする引き締まる思いが致します。

市浦で生まれ育ち、六年間のプランクがあり目を重ねて、四十七年という長い年月を重ね、数々の思い出があり、私の大きな財産となりました。

昨年は、近年にない様な、重大なニュースが新聞紙上をにぎわしてありましたが、きびしい世の中に流される事なく、ささやかなる

新しくして、歴史です。

社会の時間に、六年生の黒板を見ると、むずかしいが、いつも書いてあります。

もちろん、他の算数や理科もがんばりたいです。

他にもいろいろな、がんばりたいことはあるけど、今年はこの二つ、部活と勉強をがんばりたいです。



美 蘭 元 村 (脇)

味に心のゆとりをもち、市浦の一村民として、協力出来たらと思います。

また、同じ職場のなかまや、友人達との交流大切に、「和」が保てればと努めています。

家族の小さな幸せを願いつつ、村内のみな様の良き年でありますように、心からお祈り申し上げます。



子 葉 田 (十)

# ふれあい

新年明けましておめでとうございませう。

昨年、娘が高校へ入学、ボランティヤ部へ入り、何度が施設を訪問し、高校生ボランティヤとして、体の不自由な人たちと接した体験を話してくれました。私もその話を聞き、自分も衛生協力委員として幾度か、岩手県や青森県内の施設やホームを訪ねたこと思い出だし、自分も福祉について勉強

をして、それを生かせる仕事にしたいといふ思い、青森の学校へ入学し六力戸間、家での学習と学校での講習、特別老人ホームでの講習を受けました。また、数回ですが、ボランティヤとして老人ホームでのお手伝いと自分自身の勉強をさせていただくことができました。様々なお年よりの手土産をしてきた、知識も経験も随分な私に対して、お年よりの方々から「すまはいね」「ありがとう」と言っていたとき、うれしかったです。施設の方々にもお忙しい



子 文 西 (脇)

# 今年寅年

今年寅年。虎は千支の三番目、肉食目ネコ科の動物です。ライオンが「アフリカの百獣の王」なら、虎は「アジアの百獣の王」です。ウスイー(ロシア)と中国の国境地帯、中国大陸、朝鮮半島、東南アジアなど、温帯から熱帯地方にかけて広く生息しています。日本列島には野生の虎はいません。

日本の文献に初めて虎が登場したのは「日本書紀」で、欽明天皇の六年(五四五年)に、百濟で虎退治をして、その皮を日本に持ち帰った人がいるということが記されています。生きた虎が日本に来たのは寛平二年

(八九〇年)といわれ、その後、江戸時代には、虎は見世物として江戸・大坂(大阪)などを回っていました。多くの人が虎を見られるようになったのは、動物園が普及するようになってからです。しかし、虎はことわざなどによく登場し昔から親しまれています。どれも知っています。「虎の子」は、大切なもの、秘蔵のものということ。「虎穴に入らずんば虎児を得ず」と、虎の子が貴重なものという意味から、危険を冒さなければ「虎の住んでいる穴に入らなければ」成功は得られないということですが、

「虎刈り」は、丸刈りがはやらなくなつたので、最近はおまわり見かけません。「虎の巻」は、もともとは兵法の秘伝を記した書物のこと。以前は、学生さんなどが参考書などをこう呼んだものですが、この言葉もはやらなくなりました。また、虎は強いもの、恐ろしいもの例えにもよく使われます。「虎視眈眈」「虎の威をかる狐」「虎の尾を踏む」「虎は千里往つて千里還る」「虎は肌えて死肉を食わず」「虎は死して皮を残す」など、枕草子にもありますが、ただし、酔った払いの大トラはいただけません。

「虎刈り」は、丸刈りがはやらなくなつたので、最近はおまわり見かけません。「虎の巻」は、もともとは兵法の秘伝を記した書物のこと。以前は、学生さんなどが参考書などをこう呼んだものですが、この言葉もはやらなくなりました。また、虎は強いもの、恐ろしいもの例えにもよく使われます。「虎視眈眈」「虎の威をかる狐」「虎の尾を踏む」「虎は千里往つて千里還る」「虎は肌えて死肉を食わず」「虎は死して皮を残す」など、枕草子にもありますが、ただし、酔った払いの大トラはいただけません。

97年版

# 市浦村のおもなできごと

一九九七年もいろんなことがありました。昨年のおもなできごとを写真でふりかえってみます。

- 1月**
  - 新年を祝う会
    - 住民と行政が一体となった村づくりをめざす
  - ハウストマト生産十周年記念大会
- 2月**
  - 第一回白鳥まつり
    - 冬期間の観光振興と地域間交流をめざす
  - 民生委員辞令交付
- 3月**
  - 相内小学校創立百二十周年を迎える
  - 平成八年度市浦村スポーツ賞授与式
    - スポーツ活動において各方面で活躍された五名が受賞
  - 第一回町内会親善ソフトスポーツ大会開催
  - 十三及び脇元漁港局部改良事業（拡張）が完成
  - 市浦村土地改良区初めての通常総会開催
  - 脇元海岸浸食対策事業（縦傾斜護岸）が完成
- 4月**
  - トーサムグリーンパークが道の駅（十三湖高原）の登録を受ける
  - 厚生省より健康文化都市指定を受ける
  - 第二十回東京相内会交流会（東京浅草）
    - 二十年目の交流会は地元相内の虫おくりも参加
  - 一日ドック（総合検診）実施
    - 村民八百人が受診



▲新年を祝う会



▲ハウストマト生産10周年記念大会



▲地元からの参加もあった東京相内会交流会



▲市浦村スポーツ賞授与式



▲800人の受診があった「1日ドック」



▲第一回白鳥まつり

5月

- 市浦村総合防災訓練  
防災意識を再認識する
- 少年少女英会話サークル  
英語指導助手を講師に招き実施

6月

- 道の駅「十三湖高原」登録記念イベント開催
- 第四次市浦村長期総合計画審議会委員が発足  
村民代表二十一人を審議会委員に委嘱。二十一世紀初頭を目標とした村づくり計画に着手

7月

- 第一回十三湖横断ウォーク  
県内外より集まった百八十八人が完歩を果たす
- 新しい英語指導助手就任としてネーサンIIギルダートさんが着任
- 東日流安東まつり
- 消防回覧覧式
- ジュニアリダー研修会  
上ノ国町から小学五年生を招いて開催
- 協元小学校にピアノ寄贈  
寄贈されたのは磯松出身の小野勝男さん

8月

- 平成九年産成人式  
新たに社会人としての決意をする
- 第三回関東地区「ふるさと市浦会」交流会  
今年は地元市浦で開催され、地元と市浦会の交流及び意見の交換が行われる
- 県民体育大会  
市浦勢大健闘村の部で総合九位  
村の部男子一〇〇mで梶浦武也さんが六年連続優勝。  
軟式野球競技で十四年ぶり二回目の優勝。ポウリング競技個人戦で新聞寿行さんが優勝。ポウリング競技総合優勝。



▶市浦村総合防災訓練



▲少年少女英会話サークル



▶クイン先生から  
ネーサン先生にバトンタッチ



▲第1回十三湖横断ウォーク



▶県民体育大会  
市町村対抗 高層民体育大会ポウリング競技

**8月**

●「四国民舞輪の会」交流研修会(愛媛県)  
市浦村からは十七名が参加し四国民舞輪の会との交流を深める

●第八回友好効町村ふれあい交流  
上ノ国町より「上ノ国ゲートボール協会」の皆さんを  
招いてゲートボール大会を開催

**9月**

●「交通安全キャラバン隊」八年ぶりに来村  
親子ふれあい活動  
木無岳へ登山が行われる

**10月**

●「北地方特産市」が市浦村で開催  
秋の火災予防パレード  
火災予防意識の普及強化を図る

**11月**

●平成九年度市浦村褒賞受賞式  
郷土の発展や民生安定のために、各方面で活躍された  
七名が受賞

●許可独奏会  
胡弓演奏者許可氏を招いて開催

●ふるさとしゅうら会総会・交流会(東京中野)  
新相内橋が完成

●実取地区は場整備工事安全祈願祭  
●相内地区下水道整備推進委員会が発足

●あすを拓くふるさとまつり

**12月**

●市浦村共同保健福祉計画会議  
磯松公民館改築  
総事業費は八百七十六万円



▲許可独奏会



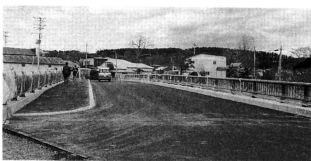
▲「四国民舞輪の会」交流研修会



▲交通安全キャラバン隊



▲平成九年度市浦村褒賞受賞式



▶相内橋が新しく生まれ変わりました